

7月度理事会議事録（2021年7月13日（火）開催）

（新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大のため、7月度理事会は、ビデオ会議システムにて開催した。）

1. 会長報告（6月8日（火）～7月12日（月）出席案件）

- ・6月8日（火）日本人会・理事会（ビデオ会議システム）
- ・6月17日（木）「タイでいつ打てる？コロナワクチン最新情報」講演会 於：日本人会本館
- ・7月9日（金）日本人会・企画推進部会・三役会（ビデオ会議システム）

2. 一般報告

（1）6月度個人会員動向

入会者 97名 退会 213名 現会員数 5,309名（内、準会員 55名 会友会員 213名）
（前年同月 5,976名・前年同月比 88.8%）

（2）6月度賛助会員

〈退会 8社〉

- ・Apex Thailand Co.,Ltd.
- ・Baby Pool Company Limited
- ・Empire Tailors Co.,Ltd.
- ・East West Merchandise Co.,Ltd.
- ・TISCO TOKYO LEASING CO.,LTD.
- ・Nippon Gasket (Thailand) Co.,Ltd
- ・Global Selection Company Limited
- ・Campus Support Inc.

現会員数 536社

（前年同月 587社・前年同月比 91.3%）

（3）会員優待店

- ・新規加盟 0店舗、退会 0店舗 現在 202店舗
- ・休業されているレストラン等も多いことから事務局にて精査しているところである。

（4）6月度会館来訪者数

本館：30名（実数 18名）

別館：199名（実数 103名）

合計：229名（実数 121名）

（前年同月 467名（実数 248名）前年同月比 49.0%（48.7%））

・4月25日（日）に発令されたバンコク都告示第25号により、4月26日（月）から会館の利用・図書館の利用を休止していたが、6月20日（日）バンコク都告示第33号により、図書館が規制緩和の対象となったため、本館図書館・別館一般図書館を再開した。

・7月10日（土）に発令された「非常事態令第9条に基づく決定事項（第27号）」並びに「バンコク都告示第36号」にて、夜間の外出が禁止（21時～翌4時）されたことに伴い、7月12日（月）～26日（月）まで窓口受付時間を月～金曜日9時～15時までと時間短縮をした。

・本館・別館図書館は政府のコールセンターに確認したところ、開館が認められていることから、開館とするが、事務局受付時間内とした。

・本館レストランは、7月1日（木）より営業を休止している。

【昨年の開館状況】

・2020年3月24日（火）より全ての会合、図書館利用、部会同好会活動などの会議室利用を中止。

3月28日(土)～4月30日(木)まで、日本人会食堂「The Japan」の完全休業。3月31日(火)より、夜間外出禁止令発令のため事務局の時短運営(9時～15時・土曜日休館)。4月16日(木)～5月6日(水)まで、別館を閉鎖、5月7日(木)より別館再開したが、6月30日(火)までは本館・別館との時短運営とした。6月15日(月)より、会議室利用の一部緩和、7月1日(水)より、事務局窓口受付時間を通常に戻し、ソーシャルディスタンスに配慮した形で、会議室利用を本格的に再開、併せて、本館図書館・別館一般図書館を再開。7月10日(金)別館・子ども図書館を再開。

(5) 6月度会計報告

- ・6月度収入は、132万バーツ、(前年同月 161万バーツ 前年同月比82.1%)
- ・6月度支出は、213万バーツ、(前年同月 184万バーツ 前年同月比116.1%)
- ・単月収支は、-80万バーツ(前年同月 -23万バーツ 差額 -58万バーツ)
- ・累計収支は、49万バーツ(前年同月 -20万バーツ 差額 70万バーツ)

(6) 寄付・寄贈報告

- ・本の寄贈

イーブン美奈子様より、ご自身がタイ語から日本語に翻訳された書籍を4冊ご寄贈頂いた。その他、野村祥美様他、1名より75冊寄贈頂いた。

(7) その他報告(事務局)

- ・7月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

3. タイ国日本人会後援名義・ロゴ使用申請(事務局)

(1) 対象事業名: J-Talk Diggin' Culture #13 「サムライとは何か—その歴史と思想」

- ・開催日: 2021年8月21日(土)
 - ・主催: 国際交流基金バンコク日本文化センター
 - ・要請事項: 日本人会後援名義・ロゴ使用・会員への告知
-) 異議なく、承認された。

4. 会友会員・会報の有料化について(事務局)

・6月の理事会で継続審議となった会友会員の会報(ニュースレター)有料化について、これまでの経緯と共に三役会での方針を説明したい。

・2019年度より、日本人会の財政の収支均衡を図るために、様々な施策を実施してきた。会友会員の条件見直しもその一つの施策であり、受益者負担の考え方で、会館利用料の値上げや、会友会員の年齢引上げも実行してきた。今回の会報の実費負担についてもその考え方の延長にあるものである。

・石井理事からの指摘のあった、会報発送に係る費用については、会報(ニュースレター)については、広告収入から郵送費や封筒、用紙代の概算費用を差し引いた収支は黒字ではあるが、封入作業員の人件費を考慮すると、ほぼ収支均衡である。しかしながら今後、情報誌の封入も減ることから人件費分を賄えるほどの黒字幅の確保は難しい状況である。尚、郵送費や封筒、紙代を考慮すると、1回あたり10.5バーツ、年間で252バーツの費用が掛かっている。

・一方クルンテープ誌は、全く広告料では賄えておらず、会費を原資として作成している。2019年下期より季刊化し、2020年度は完全に季刊化して費用の圧縮に努めているが、1冊あたり、40.4バーツ、年間で162バーツの経費が掛かっている。

・会報(ニュースレター)と会報誌(クルンテープ誌)を合計すると年間で一世帯あたり、414バーツ負担していることとなる。

・石井理事からの意見としては、年間414バーツ程度あれば、既存の会友会員から費用負担を求め

ることをしない。しかしながら、聞き取りを行い、不要な方には発送しないことで費用の圧縮に努めたらよいのではないかとこの提案を頂いた。

・三役会でも協議したところ、受益者負担の考え方にに基づき、月額 50 バーツ、年額 600 バーツを会友会員の会報希望者には負担頂くことが適当であるという判断となった。現在、会費値上げは難しい時期ではあるが、将来会費値上げするにあたっては、費用を公平に負担頂くことは必要なことであるという認識で一致した。

尚、2021 年、2022 年に会友会員になられる方にも 2020 年 12 月の理事会では、1200 バーツのご負担をお願いすることで、承認されているが、新規会友会員も同額の 600 バーツ負担とすることしたい。

・尚、9 月から会友会員には個別で会報の希望の有無の聞き取りをし、連絡のない方には、2022 年 4 月以降、自動的に発送を中止するという対応をすることしたい。

——> 異議なく、承認された。

4. 外務省向け申請結果報告及び予算承認（事務局）

・外務省向け申請（海外在留邦人・日系人の生活・ビジネス基盤強化事業）について、外務省の承認が下りたので、日本人会の予算として承認頂きたい。

・申請 1 としては、「コロナ禍における心身を鍛えるオンラインセミナーシリーズ」で、1,590,150 バーツ、申請 2 としては、「コロナ禍における健康増進活動バーチャルランイベント」1,202,680 バーツ、合計で 2,792,830 バーツ、満額で外務省より承認が下りた。

・申請 1 のオンラインイベントについては、7 月～12 月までで 10 回実施予定であり、申請 2 のバーチャルランイベントは、10 月に実施予定である。

・承認頂きたい予算としては、収入予算が補助金と同額の 2,792,830 バーツ、支出予算としては、事務局人件費（367,010 バーツ）を差し引いた 2,425,820 バーツとなる。尚、事務局人件費は総務部予算内で充当することとする。

——> 異議なく、承認された。

5. 2021 年度ラムウォン盆踊り大会に関して（日時本理事）

・直近では、2017 年 12 月にラムウォン盆踊り大会を開催した。2 年おきに開催しているため 2019 年に開催予定だったが、近年利用している国立競技場が改装に入り 2020 年に延期をした。2020 年は新型コロナウイルス感染拡大のため一年延期とした。

・開催に向けて、1 万人規模の行事を実施するにあたり、旅行会社の HIS とも共催の方向で調整し、HIS には、スポンサー集め、日本の自治体への声掛けを行って頂き、事務局負担軽減も検討していた。また、日本政府観光局にも協力の依頼をしてきた。一方で現在、5 人以上の集まりの禁止、午後 9 時からの夜間外出禁止、ショッピングモールの閉鎖など規制が強化されている。

・準備期間のことを考えると 7 月中には開催の可否を検討しなければならない。開催にあたっては、オンライン開催ではなくリアルでの開催であること、新型コロナウイルス感染拡大の影響が払しょくされていること、共催運営先があること、収支均衡で実施できることが条件ではあるが、現在、新型コロナウイルス感染拡大が続いている状況の中、リアルでの開催は難しいことを踏まえ、企画推進部・三役会でも検討した結果、2021 年度、ラムウォン盆踊り大会は中止することとした。

7. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

(1) チャリティーバザー実行委員会・チャリティー基金運営委員会（福田理事）

・先月の理事会で発表したとおり、チャリティーバザーは中止としたが、11 月末までチャリティー基金への寄付を募集中である。

(2) クラブ部 (土田理事)

- ・6月21日(月)より本館・別館一般図書館を再開している。
- ・6月分賃料は30%減額となったが、引き続き会館が利用できない状態が続いているため、引き続き交渉していたが、7月分は減免できないとの連絡があった。しかしながら引き続き交渉していく予定である。
- ・フジスーパー3号店の改装に伴い、Citi Resort Annex 入口の看板が新しくなり、日本人会のロゴやタイ語表記が入り、場所が分かりやすくなった。

(3) 婦人部 (竹井理事)

- ・6月22日(火) ウェルカム・オンライン交流会をオンライン会議システム ZOOM にて、開催した。来タイ歴の浅い方や、これから来タイ予定の方、63名の参加があった。ブレス薬局の飯田直樹氏より、タイと日本の薬事情の違いについて講演頂いた。またタイ・セコム宮地豪氏からは、バンコクで安全に生活するための心構えについて講演頂いた。事後アンケートでは、「コロナ禍でなかなか情報収集できないなか、専門家から詳しい話を聞いて良かった」など、90%以上の方が「満足した」と回答であった。合計22社の企業より協賛品を提供頂き、感謝申し上げます。協賛品は参加者の皆様に6月28日(水)より、別館窓口にて配布している。

【協賛会社一覧】タイ味の素・日本航空・JTB タイランド・トヨタモータータイランド・ヤクルトタイランド・ヤマモリトレーディング・タイセコム・UCC コーヒー・ブレス薬局・バムルンロード病院・ハーモニーライフ・106 HAIR STUDIO・美人トマト・Kana Shimada Total Beauty&Co.Ltd.・Wellness Life Project(Thailand)Co.,Ltd.・ZEN Golfer's Factory・サイトウフーズ・Shirokumaya Café・JIM THOMPSON・Décor Craft Studio・TCK Workshop・SEOUL RESTAURANT (順不同)

(4) 厚生部 (桐生理事)

- ・出産準備教室では、6月26日(土) よしもと×プレパパクラスオンラインイベント「パパ芸人タケトさんに学ぶ！ パパがもっと楽しくなる子育ての秘訣&座談会～赤ちゃん・未就学児編～」を開催した。9組が参加した。

(5) 広報部 (富永理事)

- ・6月の各情報誌の日本人会広告を紹介した。
- ・6月のホームページアクセス状況は、訪問数 16,069 閲覧数 36,877 前年同月比、訪問数 186.7%、閲覧数 153.5%。前月比は、訪問数 94.9%、閲覧数 106.9%。タイからの訪問数は 77.4%、日本からは 18.8%。「在タイ邦人向けワクチン情報」が閲覧上位にきている。
- ・6月度 LINE は 14 回配信、登録者数は、先月より 408 名増加し、5,424 名(有効数 3,695 名)となっている。現在、ワクチン情報を発信しており、在留邦人の求める情報を積極的に配信することにより登録者数が大幅に増加したと考えられる。
- ・6月度 Facebook は、11 回配信、フォロワー数は、先月より 66 名増加し、2,424 名となっている。
- ・6月度インスタグラムは、15 回投稿、登録者数は、先月より 46 名増加し、1,062 名となった。

(7) 会報部 (富永理事)

- ・7月10日(土) 発送のクルンテープ誌 7月-9月号、表紙は5月16日(土)に開催した内堀師の出家式・特集は、2021年度定期総会のご報告、ボランティアガイド・青少年サークルである。

(7) 企画推進部 (富永理事)

- ・6月17日(木)「タイでいつ打てる？ コロナワクチン最新情報」をオンラインで開催した。973名の応募があり、最終的には783名に参加頂いた。講師はバムルンロード病院・内科医の百武加恵氏。

また、在タイ日本国大使館より、大場雄一公使にもご登壇頂いた。講演の内容は YouTube でも配信中であり、再生回数が 2800 回を超えた。また、チャンネル登録数も 101 名増え、162 名となった。

・6月30日(木) オンライン・インター校合同説明会を実施した。Traill International School と International School Bangkok が参加、24名の参加者があった。

・7月8日(木) 政府支援事業として、コロナ禍における初めてのタイ駐在講座①「タイの異文化と国民性の理解」講師・山下雅史氏にて開催した。126組の参加があった。9月16日(木)に会員限定でビジネスに特化した内容にて第2回を開催予定である。

・7月15日(木) よりオンラインにてタイ語基礎クラスを開催する。全4回(会員1,000パーツ、未入会者は1,800パーツ)、定員は15名とした。すぐに満員となり、7月19日(月)より、月曜日クラスも開講することとした。講座委託先は Westell Language School。

・7月23日(金) オンライン語学スクール JTCA 社と、「タイのスマホアプリを使おう」を開催予定。各種アプリの使い方をはじめ、配達員やメイドさんへの簡単なタイ語会話などを紹介する予定。

・8月3日(火) 政府支援事業「コロナ下での子育て」をサミティベート病院・コーディネーター医師の南宏尚氏を講師に迎え開催予定である。

(8) 食堂運営委員会(事務局代理)

・食堂売上6月は、430,175パーツであった。タイ人顧客は1,135名、邦人顧客は396名、総顧客数1,531名、会員利用者延べ人数は75名、実数22名であった。

・6月28日(月)より店内営業が禁止され持ち帰り営業のみとなったため、7月1日(木)より、食堂は休業中である。

・7月7日(水)に食堂従業員は一回目のワクチン接種をした。2回目は7月28日(水)を予定している。

(9) 大使館代表(松前領事部長)

・タイにおける外国人のワクチン接種については、なかなかうまく進んでいない状況であるが、大使館としては保健省と、在留邦人への接種が促進されるよう協議をしている。

・在留邦人の一時帰国をしてのワクチン接種については、7月19日(月)から予約受付を開始する。外務省のホームページから申込が可能。接種は8月1日(日)から開始、1月上旬に終了予定。当面の間、2ヵ月先まで予約可能である。自治体で発行するワクチンパスポートは、7月26日(月)から開始予定である。一時帰国をして接種される方は、外務省に問い合わせ頂きたい。詳しくは、外務省のホームページを参照頂きたい。

(10) バンコク日本人学校(谷口校長)

・バンコク都がダークレッドゾーンから解除されない限り、学校での授業は再開できないため、先行きが見えない状況である。

(11) 青少年部(事務局代理)

・6月は、演劇サークルはオンライン稽古を実施した。柔道サークルは、公園が再開したため、有志にてジョギングを開始。剣道サークルは、平日、オンライン朝稽古を実施している。また、6月27日(日)にオンライン手ぬぐい早素振り大会を実施した。オンラインの開催であったが、大いに盛り上がった大会であった。

・7月は演劇サークル・剣道サークルはオンラインにて活動予定、それ以外は学校再開まで活動を休止の予定。

・日高青少年部長から、サークル活動再開の後押しになればということで、サークル指導者を対象にワクチン接種の機会をご提供頂いた。シラチャでの接種ということもあり。最終的に希望者1名が接種予定となっている。

(12) 事業部 (事務局代理)

・先月より、4月に着任した内堀師の活動報告を発表している。6月は、タイ比丘としての主な行事への参加8回、納骨堂堂守として供養を3回実施して頂いている。内堀師より、「納骨堂地下は倉庫のように扱われており、現在、新規の納骨棚は地下に集中しており、参拝希望の方には危険が伴っている状況である。安全な参拝環境整備のため、僧房の整理も含め対応していきたい」と報告がきている。

(10) 事務局報告

・7月15日(木)小川里枝子職員が退職する旨報告、挨拶をした。
・9月末付けにて熊本奈々子事務局長が退職、後任は村上恵一事務局次長、また、事務局次長後任は、別館責任者の安達麻紀職員が就任予定である。
・7月の会議日程を確認した。

8. 6月度理事会議事録承認

——> 異議なく承認された。

9. 理事会出席者 (敬称略、順不同)

・島田会長、日時本、田中、福田、加藤(三井)各副会長、加藤(トヨタ)、堀尾、日高(丸紅)、太田、小田原、吉田、桐生、岩本、土田、竹井、富永、重松、金子、石井各理事、朽木、大竹各監事、松前大使館代表、谷口日本人学校校長、森田 JICA (国際協力機構) 所長、石川 JETRO (日本貿易振興機構) 代表、高橋報道代表、西岡タイ情報誌制作代表、事務局 (熊本・村上・松田)